

踏瀬旧国道は、奥州街道として江戸と陸奥を結ぶ主要道として使用され、村の天然記念物に指定されているが、近年松の減少が目立つようになっていた。このため景観の再生を目的に令和6年度にアカマツの植栽を実施した。

□ 事業内容

踏瀬旧国道松並木アカマツ植栽業務

- アカマツ41本（H=1.5m、L=100m）

【事業費】647千円（うち譲与税647千円）

【実績】647千円（うち譲与税647千円）

□ 取組の背景

- 泉崎村の天然記念物である踏瀬旧国道松並木を後世に伝えていくために、植栽を行い景観の再生を目指した。

□ 工夫・留意した点

- 白河信用金庫様主催の「奥州街道御宿場印めぐりキャンペーン」がスタートすることもあり、泉崎村民ならびに観光スポットとして来訪して下さるお客様のために、未来に繋がる美しい景観になるよう努めた。

□ 取組の効果

- 景観が改善され、これからの成長が楽しみであると好評をいただいている。



（施工前）

（施工中）

（施工後）

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：2,318千円	②私有林人工林面積（※1）：324ha
③林野率（※1）：31.7%	④人口（※2）6,213人
	⑤林業就業者数（※2）：2人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より